



市議会だより

No.
125

編集・発行 北九州市議会事務局 ☎582-2632 FAX582-2685

平成6年4月15日

大 空



1995年パラグライダー世界選手権プレ大会
'94パラグライダーワールドカップ

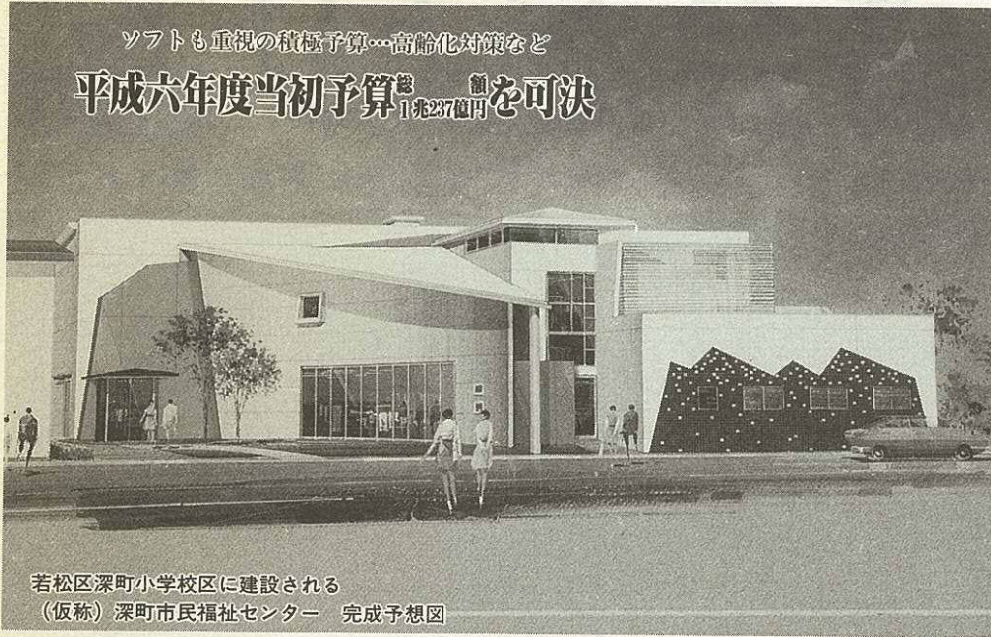
《血倉山頂》

2月定例会

平成6年2月北九州市議会定例会が、2月24日から3月29日までの34日間にわたり開かれました。

市長から79件の議案が提出され、いずれも可決しました。

また、議員から提出された議案は、13件のうち4件を可決しました。



若松区深町小学校区に建設される(仮称)深町市民福祉センター 完成予想図

ソフトも重視の積極予算…高齢化対策など
平成六年度当初予算1兆237億円を可決

※単位千円以下は切り捨て

Table with 3 columns: 区分, 補正額, 補正後の額. Rows include 一般会計, 特別会計, 企業会計, 合計.

平成五年度補正予算

Table with 2 columns: 区分, 予算総額. Rows include 一般会計, 特別会計, 企業会計, 合計.

平成六年度当初予算

市長提出の
主な議案

今年度は、ルネッサンス構想の第二次実施計画がスタートします。これまでの成果を十分踏まえて、高齢化社会対策

市長提案理由説明(要旨)

積極果敢にやります

や生活環境の整備を重点に、現在、計画を策定中です。

平成六年度は、厳しい財政状況の中で、高齢化対策と景気対策に重点を置いて、積極予算を編成しました。新予算の特徴は、①高齢者や障害者

- 条例の制定
北九州市違法駐車等の防止に関する条例
違法駐車等をなくすことで、道路を広く確保し、市民が安全で快適に使えるようにするもの
北九州市空き缶等の散乱の防止に関する条例
市、事業者、市民が協力して、空き缶などの投げ捨てを防ぐことで、快適な生活環境の確保とまち美化を進めるもの
条例の一部改正
北九州市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等
市議会議員の報酬、市長等の給料の改定
北九州市手数料条例
手数料の改定

- 住民票、印鑑登録証明 三〇〇円など
北九州市国民健康保険条例
保険料の賦課限度額の改定 四八万円
保険料の納期の変更 六月以降毎月で年十回
工事請負契約の締結
若松競艇場の西スタンド棟 改築、電気、空調工事
契約金額 八六億四、一七〇万円
市有地の処分
若松区大字小敷、大字塩屋、八幡西区大字本城に市が持っている土地を北九州学術・研究都市整備構想推進事業用地として売り払うもの
面積 三〇万三七四㎡
予定金額 三七億四、九一三万円



議員提出議案

(可決したもの)

- 診療報酬の抜本的改定及び民間医療機関に対する財政支援を求める意見書
安全で良質なコメの安定的な供給の確保と農業政策の改善を求める意見書
定住外国人への地方参政権や人権保障の確立に関する意見書
九州旅客鉄道株式会社と北九州本社の維持発展を要請する決議
※意見書は、内閣総理大臣等に送付しました。

陳情

(採択したもの)

- 高齢化社会対策の充実についで、のうち
国へ診療報酬制度改善の意見書の提出
診療報酬の抜本改定、民間医療機関に対する財政援助について、のうち
国へ診療報酬の抜本的改定の意見書の提出
診療報酬の引き上げを求める意見書の提出について
定住外国人の地方選挙への参政権を求める意見書の提出について

質問と答弁

本会議で、20人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



ルネッサンス構想

第二次実施計画にあたって

議員 ルネッサンス構想の第二次実施計画のスタートに当たって、どのような決意で臨むのかお尋ねします。

市長 第一次実施計画で、まちづくりの基盤整備を着実に進めることができたと考えています。六年度から第二次実施計画へ引き継ぎますが、策定に当たって、特に意識した点が二つあります。

一つは、長引く不況への対応を織り込むかどうかということです。長期計画が好不況方法はどのように考えていますか。

環境局長 約一、〇〇〇団体が集団資源回収を行い、リサイクルの成果をあげています。しかし、最近、新聞など古紙の市場価格が低迷し、回収活動が停滞しつつあります。その対策として、六年度から一kg当たり三円の奨励金を出すことにしました。

効果としては、活動の活発化と回収団体の増加が期待されます。

この制度は、市政だよりなどを活用してお知らせしたいと思います。



議員 子供会などの資源回収活動に対し、回収量に応じて奨励金を出す制度をつくるのとありますが、効果と周知

の波に左右されるのもどうかということ、あまり気にしない方がよいというのが大多数の意見でしたので、それに従いました。

もう一つは、高齢化社会の問題で、こちらは重点をおく必要があると考え、一次計画のとき以上に力を入れることにしました。

その他生活環境の整備や広域交通体制の整備など、長期的な基盤づくりにも取り組んでいく考えです。

もちろん財源の確保は常に念頭に置いておく必要があります。

また、ソフト施策を充実させ、行政の範囲を越えた取り組みで、社会情勢の変化に的確に、しかも柔軟に対応しながら、第二次実施計画を進めたいと思います。

どのような対処を

▼JR九州・資材課 移転問題▲

議員 JR九州（九州旅客鉄道株式会社）が、北九州本社資材課を、三月末に福岡本社に移転させるとのニュースですが、影響について、どのように対処するのですか。

市長 移転の話は新聞で知りました。市に相談がなく、遺憾に思っています。資材課を北九州市に残す約

東は、JR九州が発足する際、運輸省が立ち会い、北九州・福岡両市に本社を置くことと決めた永倉裁定で、今も厳然と存在していると考えています。

市としては、JR九州に約束を守ってもらいたいという立場で、申し入れをしたいと思っています。

（市からの申し入れで、三月十日日本市に対し、資材課の移転は見送る旨の回答がありました。）

女性行政の推進を

議員 雇用、教育、家庭などで、女性に対する性的差別が根強く残っています。北九州市女性プランを見直し、効果を上げるべきだと思えますが、考えをお聞かせください。

市長 男女共同参画型社会を目指して、女性プランを作りましたが、六年度で前期具体的施策の実施期間が終了します。

女性就業者の増加、男女の意識など、女性プラン策定後の社会状況も変化しており、こうした状況を踏まえて、七年度から十一年度までの後期の施策を検討します。

この十年間の市や国などの取り組みで、例えば、各種審議会への女性の登用率の上昇や、男女雇用機会均等法・育児休業法が施行されるなど、女性の社会進出や地位は着実

に向上していると思います。今後とも引き続き、国・県など関係機関と連携し、取り組みを強めたいと思います。

位置、診療科目は?

▼第二急患センター▲

議員 第二夜間休日急患センターの設置場所を、なぜ市民の要望が強い八幡西区ではなく、市立八幡病院（八幡東区）内としたのですか。

また、このセンターでは、小児科の診療を行わないとのことですが、需要が多い小児科の診療に向けて、今後も取り組んでいくべきだと考えますがいかがですか。

保健局長 第二夜間休日急患センターの設置については、北九州市保健医療総合検討委

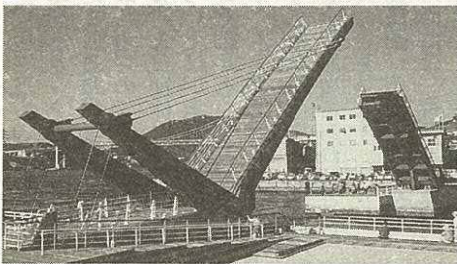
員会から「市立病院の近くに設置し、東西二極体制による初療体制を整備する」という答申を受けました。

医師会をはじめ関係機関とも協議を重ねた結果、答申の趣旨を生かし、第二夜間休日急患センターは八幡病院内に設置し、休日急患診療所（現在、八幡西区紅梅町）を八幡西区の中央部（穴生地区）に移転することにより、早期に西部地区全体の救急体制の整備・充実を図ることにしました。

第二夜間休日急患センターは、小児科専門医が全国的に年々減少し、確保が難しいため、まず、内科、外科、整形外科でスタートしたいと思えます。

小児科の必要性は十分認識しており、関係者と協議しながら、小児科医の確保に向けて努力をしていきます。

これからのおすすめ"門司港レトロ"



スペースワールド人気などで本市への観光客が大変増えてきています。観光ルートをもうひとつ工夫してみても、と議員。

当局から、「門司港レトロを中心に観光キャンペーンを行い、新しい観光拠点とルートの開発、観光客の期待に応えた魅力ある観光コースづくりをさらに進め、大いに宣伝していきます」との考えが示されました。

JUNIOR

▼地域ボランティア活動▲

議員 高齢化社会を迎え、地域ボランティアの育成が大切ですが、活動の現状や、育成・計画についてお尋ねします。

民生局長 市社会福祉協議会のボランティアセンターには、四一団体、一万八、一九七人が登録され、福祉をはじめさまざまな分野で、主体性と目的をもって活動しています。

民間のボランティア団体・グループの活動は、それぞれの地域に根ざしていくことが望ましいと思います。

今後、市ボランティアセンターと協力しながら、豊かな経験と知識をもつ民間ボランティア団体にも、高齢化社会に対応する新しいシステムで



ある地域福祉ネットワークづくりへの参加、協力を呼びかけたいと思います。

また、地域住民による主体的な保健・福祉活動等を進める、熱意と経験を持ったリーダーの養成が急務だと考えています。そこで、現在、社会福祉ボランティア大学校で研修を行っています。

さらに、この地域リーダーや将来設置する区レベルのボランティアセンターが中心となり、地域住民が公民館や（仮称）市民福祉センターなど身近なところで研修が受けられるよう考えていきます。

JR新駅を検討

黒崎・折尾間

▼東折尾地区総合整備▲

議員 東折尾地区都市拠点総合整備事業は、地元で期成会ができるなど早期の着工が望まれています。考えをお聞かせください。

また、既に区画整理が行われたところですが、この整備事業の実施にあたり、どのように取り扱うのか、併せてお伺いします。

市長 この地域一帯の開発は、十分に利用されていない国鉄清算事業団の土地の活用と、黒崎、折尾間の駅の新設が大きな要素です。

これらを中心とした絵を描いていくか、というのが現

海峡を越えて握手

▶北九大・下関市大 活性化を仲よく共同研究◀

関門地域の活性化を主なテーマとした共同研究が北九州大学と下関市立大学で行われることになり、議員から研究内容と成果の活用方法について質問がありました。



当局から、「これまでの関門地域の歴史的な発展経過を踏まえ、両地域の一体的な発展の必要性を学問的に究明していこうとするものです。研究期間は、6年度～8年度の3年間の予定で、成果は、研究報告書にまとめ公表されるほか、シンポジウムなどで地域に公開される予定です」との答弁がありました。

在の状況です。

まず、全体計画についての合意をつくりたいと考えていますが、同時に、早く実施できる部分は事業化を進めることも必要です。新駅設置は、地元で強い要望もあり、先行的に行いたいと考えています。

都市計画局長 この地区は二年度に開発のための調査を行い、三年度からは整備区域、土地利用、都市基盤施設及び導入機能の具体的な検討を進めてきました。

新しい都市拠点にふさわしい土地利用のためには、この計画区域を総合的、一体的に整備することが望ましいと思

います。既に区画整理が行われていますが、倉庫や住宅などが混

在している部分もあり、将来

とも調和のとれた市街地をつくるためには、既存施設の再配置を含めた土地利用の転換が望ましいと考えています。

そこで、区画整理事業や再開発事業といった広範囲な整備事業も含めて検討したいと考えています。

まちから違法駐車が消える日

消える日

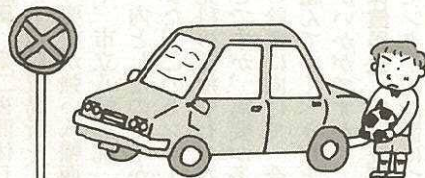
議員 今回提案の「違法駐車防止条例」の効果を上げるために、警察と協力するとともに、市民代表を含む違法駐車防止検討委員会の設置や、市民団体の育成など、市民参加型の運動を進めてはどうか

ですか。

また、住宅地の青空駐車や、貨物集配トラックの荷さばき駐車による道路混雑などには、どう取り組むのですか。

市長 市民団体の協力、育成については、条例の中にその趣旨を織り込んでいるつもりです。市民代表や事業関係者、学識経験者などによる検討委員会が必要であれば、検討したいと思います。

市民局長 条例の効果を上げるためには、警察との連携が重要です。連絡会議をもち、情報交換をしていきたいと思



(駐停車禁止)

います。

特に重点地域では、交通巡視員と警察官との連携活動や違法駐車の情報など、関係を強めていきたいと思っています。

また、青空駐車は、条例の制定を機会に、解消に向けて警察に指導と取り締まりを依頼するとともに、広報・啓発に努めたいと思います。

洞海湾周辺鉄道を研究！

を研究！

議員 鉄道ストック有効利用に関する構想の調査の進み具合はどうなっていますか。

市長 北九州市には多くの鉄道ストックが残っています。これを上手に利用することが必要な時期が来るのではないかと考え、五年九月に、東大教授、JR九州、運輸省などの関係者で委員会を作り、現在、制度上の問題や採算などを検討しています。

この中で、鉄道ストックのネット化に不可欠な若松一戸畑間を連絡する洞海湾周辺鉄道を、一つの事例研究として勉強中です。

単年度の運営面では採算が取れる可能性もありますが、トンネル建設等、多額の整備費用が必要であり、整備手法や事業主体など、詳細な検討が必要と聞いています。

そのため、六年度も引き続き、施設整備のための事業手法や運営主体なども含めて検討し、十月頃までに方針を出そうと取り組みが進んでいます。

垣根をこえた取り組みを

▼各種パトロールの連携▲

議員 道路、建築、環境など各局で実施しているパトロールの一本化についてお尋ねします。

また、違法駐車、ポイ捨て防止の巡視や監視も、パトロール業務の一環として、連携して行っているかがどうか。

市長 道路や文化財パトロール



ール、財産巡視、港湾や宅地造成工事の監視、不法投棄の防止、違反建築物検査・調査など、多くのパトロールをそれぞれの所管の局や課で行っています。

法律に基づいて個別に縦割りで権限が与えられているため、分かれて行っているものですが、統合する方向で問題点を検討中です。

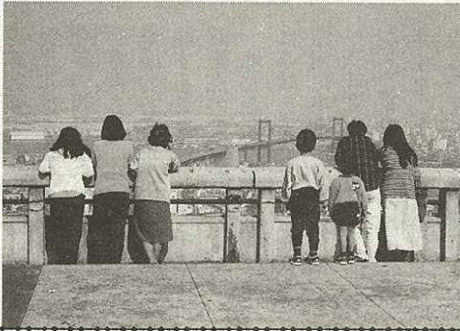
かっぱも喜ぶ

若松・高塔山公園リフレッシュ

あじさいの名所、かっぱ祭りのメイン会場として市民に親しまれている高塔山公園の展望台がリフレッシュされます。

議員の質問に対し、建設局長から、「高塔山公園は若松区の地域拠点公園に位置付けています。展望台や売店など全体的に施設が老朽化し、再整備の必要があります。とりあえず、整備後30年にな

る展望台は、6年度に手すりの腐食等危険な部分の補修や全体の塗装などを行い、快適に利用できるようします」と答弁がありました。



市民局長 交通巡視員と町

美化推進員の仕事については、活動の性格、役割から、パトロール業務と一体となつての運用は難しいと思いますが、情報交換など協力連携できるものはないか研究します。

新空港への足は

どうする？

議員 新空港の建設がいよいよ始まりますが、新空港への連絡道路はどのように考えていますか。

モノレールなど軌道系の交通も整備する考えはないかお尋ねします。

また、海上空港という特性

を活かし、周辺都市からの海上交通も考えてはかががですか。

市長 新空港への連絡は、今のところ道路系で計画しています。

また、軌道系交通も、大量輸送、定時性という点では優れており、検討する時期に来たのではないかと思います。

軌道系を考える場合、小倉駅から、例えば新幹線をつなぐということも考えられます。いずれにしろ、方法によっては後世に赤字を残すおそれもあり、採算等を慎重に検討しなければなりません。

なお、大分空港のように海上交通のほうが速いという例

もありです。二十四時間空港

として、地域のネットワークを組むためには、海上アクセスも検討課題としています。

企画局長 新空港への連絡道路は、現在、苅田ルートが計画されています。このルートは東九州自動車道との結節を前提に県道事業として実施することを基本としています。

現在、県を中心に整備方針を検討しているところです。

おいでよ！北九州市へ

▼企業の誘致▲

議員 不況下では、雇用の創出につながる企業の誘致は緊急の課題です。

今後の対応をお聞かせください。

市長 今までの企業誘致は、市が中心になり、用意した土地に誘致する方法でした。

企業の方から北九州市にきたいという申し出はほとんどなく、他市との誘致競争です。競争には土地や水の便だけでなく、労働力や住み良さといった点なども加味されます。

競争なので、これまでの施策で十分かどうか、もう少し考えなければならぬと思います。

そこで、市内の企業や経済団体や行政が、企業誘致推進会議のようなものを共同でつくり、情報収集、誘致活動をしたいと思っています。

キミに理科の楽しさ

教えます



議員 新しく開く(仮称)

「理科・科学小中学生サマースクール」で、本市を代表する施設・企業の見学や、わっしょい百万夏まつりへの参加を計画してはどうですか。

また、募集・選考方法、児童生徒の受け入れ態勢はどうなっていますか。

教育長 スクールを開くに当たって、本市の産業施設、自然の豊かさを活用することはもともととのねらいであり、

新しい入札制度への

第一歩

議員 改善の試みとして、新入札制度「意向確認型(基準適合型)指名競争入札」を試行したとのことですが、結果はどうでしたか。

また、中小規模工事では条件付き一般競争入札が難しいといわれていますが、本市では、どの程度の工事まで適用し、どのランクの業者までが参加することになるのですか。

建設局長 新制度の導入に当たり、その問題点をつかむため、二件の工事で試行しました。その結果、いくつかの問題点が明らかになっていま

関係企業の参加と協力をぜひお願いしたいと思います。

直接自然や本物に触れることによって、興味や関心を持ち、新しいことに挑戦する「理科の心」を育てるため、観察・実験の体験を重視した内容にしたいと考えています。

また、子供同士の親ばく、市民との交流が図れるよう、わっしょい百万夏まつりの見学も組み込む考えです。

参加者は公募する予定で、できるだけ多くの応募があるようPRに力を入れます。

市外から来る子供たちの受け入れは、市内の子供たちとの交流を基本に、ホームステイを検討しています。

す。①入札の参加資格の審査などで時間がかかる②参加申込者が従来の約三倍と多く、事務量が増加③事務経費の増加④現地説明も別々に行い、事務が繁雑⑤入札会場の確保が困難だったことです。

また、中央建設業審議会の答申でも、中小規模工事における一般競争入札の問題点として、不適格業者の排除が難しい、粗悪不良工事の恐れがある、事務処理コストが高いなどといったことが指摘されています。

したがって、導入する工事の規模や業者のランクなどの点については、今後いろいろな試行を経た上で検討していきたいと思っています。

政治倫理条例の 制定に向けて

議員 市長は政治に携わる者として自らを律し、不正を排除しなければなりません。そのために実効ある政治倫理条例を早急に制定すべきと思いますが、考えをお聞かせください。

市長 「政治倫理の確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律」で、七月十二日三二日までには県や政令市は、条例を定めるようになっていきます。市長と議員の資産等の公開を行うというものです。既に条例を定めている自治体では、法律以上に厳し

一人暮らしのお年寄りに 給食サービスを

議員 一人暮らしの年長者に、給食サービスモデル事業を行うとのことですが、具体的な方法や将来のサービス体制はどうなっていますか。

民生局長 今回の給食サービスは、モデル事業として行うもので、①食の確保②栄養面のバランスのとれた食事に

い内容を定めているところもありますが、それぞれの自治体の独自の事情、背景を受けて制定したもの聞いています。市長とともに議員の資産公開に関することでもありますが、本市での条例制定に当たっては、議会とも連携をとりながらこれから検討していきたいと思っています。

市内経済の活性化

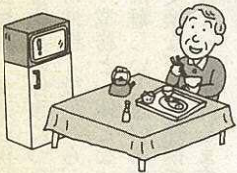
▼地元企業へ優先発注▲

議員 工事だけでなく、物品調達やビデオ製作など、ソフト事業についても、地元企業への発注を促進するという内容ですが、その具体的な内容と、準備状況をお尋ねします。

よる健康増進③ふれあいと安否の確認が目的です。

対象は一人暮らしの虚弱な高齢者で、調理は特別養護老人ホームや給食専門業者が行い、配食は地域のボランティアにお願したいと考えています。

モデル地区は市内二カ所で、



また、地元企業の定義はどのように考えていますか。
経済局長 今後、いつそ地元企業への発注を進め、市内経済の活性化と地元企業を育てるため、三月一日、助役を本部長として地元企業発注促進本部を作りました。まず、今年の四月から六月までを試行期間とし、市内に本社・事業所のある企業に優先的に発注することにして、その中で問題点の把握を行います。

対象は一カ所四十人程度、週四日一日一食。利用者の負担は材料費として一食四百円程度を考えています。

どういった方法で発注の促進を進めていくかなど、部会で検討します。

その結果を促進本部で詰めて、七月から八月三月末を一応の期限と定め、本実施したいと考えています。

Vリーグに続こうJリーグ

バレーボールで市のイメージアップ!

サッカーのJリーグに続き、バレーボールをプロ化しVリーグが誕生する動きがあります。

今シーズンの、実業団リーグで地元企業のバレーボールチームが優勝し、日本リーグへの復帰が決定しました。



議員からプロ化を機に本市独自のチームを作り、市のイメージアップを図るという提案がありました。

市長は、「今までも全国選抜テニス大会や選抜女子駅伝など、スポーツでもイメージアップを図る施策をとってきました。Vリーグができ市にそのようなチームがあれば、関係者に協力したい」との考えを示しました。

小倉北区役所 移転問題

急傾斜地／高齢者の 住環境整備

議員 小倉北区役所の移転先、跡地利用計画はどのようになっていますか。

市長 小倉北区役所の移転候補地は、来庁者の交通の便などいろいろな点を考え、第二庁舎の隣接地に決めました。

跡地利用は、小倉北区役所拠点開発推進会議で具体的な検討をしています。

広域都市圏の中核にふさわしい文化拠点として、演劇専用ホールなど芸術、文化を樂しめるホール、交流の場としての市民ギャラリーなどを持った建物を考えています。

議員 斜面地に住む高齢者の住環境整備調査費が計上されていますが、何カ所の地域を調査するのですか。

市長 平地の住環境の良くないところは、国の制度があり、住宅改良をしてきました。

ところが、斜面地の住環境整備については、国の制度がありません。

本市の場合、八幡、門司では、住宅が山の方に押し上げられた形で建てられています。



斜面地の住環境の整備は、高齢化対策でも重要なことで、制度をつくるよう国に提案したいと思っています。

五年度は、八幡東区丸山地区を中心に調査しました。六年度は、引き続き二、三カ所を調査します。

建築局長 斜面地から平地へ移転を希望する高齢者には、移転の促進助成策を検討したいと思っています。高齢者仕様の住宅への入居も考えたいと思っています。

高齢者憲章を制定しては？

市民全体の共通理念として高齢者憲章を定め、これからの高齢化社会対策の指標としてはどうか、という提案が議員からありました。

民生局長は、「高齢化社会において、望ましい高齢者像を市民みんなで考え、憲章として制定してはどうかということで、北九州市高齢化社会対策総合計画の第一次実施計画の中にも掲げています。ただ、行政が一方向的に提案するよりも、広く市民からの盛り上がりの中で憲章づくりを進めることが大切で、市民の意識や市議会の意見を参考にしながら、今後検討していきます」と答えました。



都心のもりもの顔ひくろ

▼地下街開発の可能性は▲

議員 小倉都心部で再開発など多くのプロジェクトが進められていますが、地下空間の利用も検討すべき時期とされています。

六年度予算に計上している地下空間利用に関する調査費の内容は、どのようなものですか。

都市計画局長 都市機能の集積が高まっている都心部の長期的課題として、地下を含めた高度な土地利用の検討を六年度から始めます。

他都市の地下利用や、都心の道路、沿道建物の地下利用状況などを調査し、将来を予測しながら、総合的に地下空間利用の可能性を検討します。地下街、地下駐車場、地下通路の建設などが考えられますが、地下街は、建設、運営のコストが高いこと、建設制限や厳しい構造基準の定めがあるため、近い将来の実現はなかなか難しいと考えています。しかし、小倉駅周辺の開発やモノレールの延伸、ペDESTリアンデッキ（高架歩道）の設置などが進められており、これらの事業によって、将来、地下空間利用の道が閉ざされることがないよう、現時点で検討を行うものです。

コメ不足！施設の国産米使用は？

議員 食糧庁は、新年度の学校給食に国産米を使う方針を固めました。

保育園、少年自然の家、市立病院などの給食にも国産米を使うべきだと思いますが、いかがですか。

民生局長 保育園など社会福祉施設は、施設ごとに米を購入しています。現在、国産米の絶対量が不足し、国民の大多数が輸入米を食べざるを得ない状況です。社会福祉施設でも、一般家庭と同様に輸入米を使うこともやむを得ないと考えています。

教育長 青少年施設を、ふれあい合宿など学校教育活動の一環として使う場合は、学校給食米の配給を受けているので、国産米を使います。一般に使う場合は、可能な



限り国産米を使いたいのですが、できない場合は輸入米を使うこともやむを得ないと考えています。

病院局長 病院給食は、国産米の絶対量が不足している現状で、六年度から国の安全基準をクリアしている輸入米とのブレンド米を使わざるを得ないと考えています。

女性の社会進出

VS

在宅介護の推進

議員 老人の介護で配偶者や娘、嫁など、主に女性に負担がかかっています。

在宅介護が女性の社会進出を妨げているではありませんか。

市長 女性の社会参加を進め、また、男性の家庭や地域活動への参加を進めることが必要です。女性プランなどにおいて、男女共同参画型社会を目指しています。

福祉を進めるに当たっては、施設サービスと在宅サービスのバランスがとれた体制をつくる必要があります。

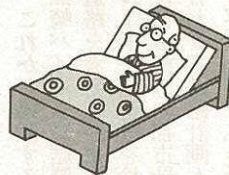
また、介護休暇制度の普及や、介護を男女が助け合おうといった、女性の社会進出を阻害しない仕組みづくりが必要だと思えます。

民生局長 近い将来、五人に一人が高齢者となる中で、高齢者ができる限り住み慣れた

地域や家庭で暮らしていくためには、在宅サービスの充実、強化は必要なことです。

また、在宅サービスを充実することで、女性の介護負担の軽減や仕事の継続、社会参加が一層容易になると考えています。

なお、施設サービスも、本市の現状を踏まえ、特別養護老人ホームや老人保健施設を、国の目標以上に整備します。また、質の向上にも努めていく考えです。



市債の発行と財政の健全性

議員 新年度予算では、財政調整基金一〇〇億円の取り崩しや、前年度に比べて三〇%増の市債発行によって財源を確保していますが、後の負担が気掛かりです。健全財政の点から、どのようにお考えですか。

財政局長 景気対策の一環としての公共投資の拡大と、財源不足に対処するため、元利償還金の一部に国から交付税措置が受けられる市債を活用するようにしています。こ

のため、本市の新年度の市債の対前年度伸び率は二九・九%増となりますが、地方自治体全体の伸び率四〇・四%に比べるとまだ低いものです。また、本市はこれまで適切な市債の発行に努めており、公債費比率は当初予算ベースで一三・五%と、前年度を〇・二ポイント下回り、さらに一般会計の市民一人当たりの市債残高も政令市の中で下から四番目で、他市と比べて特に高いものではありません。しかし、市債の増発は将来的な負担の増加を招くこととなります。今後ともその時々々の経済情勢、財政状況に適切に対応しながら、交付税措置のある特別な地方債を最大限確保し、節度ある借入によって健全な財政運営に努めます。

公債費比率
市債の元利償還金を公債費といい、この公債費が標準財政規模に占める割合

ご存じですか？

市議会では、皆様の日常生活に身近な諸問題が論議されています。本会議は、どなたでもご覧になれます。ぜひ傍聴にお越しください。次回は、6月に開催の予定です。詳しくは、市議会事務局総務課 ☎582-2621にお尋ねください。

予算特別委員会の審査から



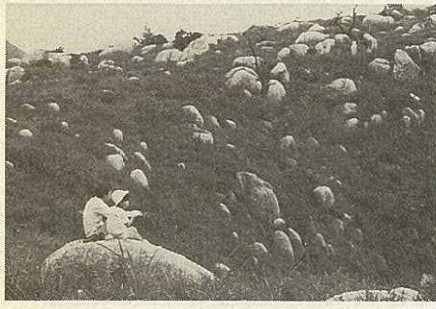
3月9日に設置された予算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。

大切にしたい

平尾台

委員 平尾台の公有地化が、五十五年度から進められてきましたが、公有地化率は約三七%であり進んでいません。天然記念物としての平尾台を守るため、早く残りの民有地の買い上げを進めるべきと考えますがどうですか。

当局 平尾台の公有地化は、文化庁の国庫補助を受け、市



が買い上げにより進めています。また、国定公園にも指定されているため、環境庁の補助による特定民有地買い上げ制度の実現を強く県に働きかけていきます。

現在、平尾台整備構想の中での収益を環境保全に活用できないか検討中です。公有地化に向けて全力をあげて努力したいと思えます。

海辺が近くに やってくる

委員

総延長二〇kmの水際線を、市民に開放することを目標としたマスタープラン作りが進んでいますが、その内容が明らかになったのはまだ五kmほどです。残りの十五kmのうち、開放に適した企業所有地はどこにどのくらいあるのですか。

また、戸畑区にある日本水産の工場敷地の開放はどうなっていますか。

当局 水際線を所有してい

る企業などに趣旨を説明し、開放をお願いしてきました。その結果おおよその了解が得られ、近いうちにマスタープランを発表できると思います。今後、企業に開放をお願いする場所は、洞海湾と響灘地区とで数カ所を考えており、折衝を続けています。また、日本水産からは、水際線の開放だけではなく、積極的に土地利用を図りたいとの意向が示されました。市としても、できる限りの協力をしたいと考えています。

地元と一体となる

開発を

八幡東区東田地区

委員 東田土地区画整理事業では、周辺地区との一体的な浮揚が大切です。しかし、国道3号が周辺とこの地区を分断しており、大型商業施設ができると、さらにそれがひどくなると考えますが、いかがですか。

当局 現在、この地区と中央町の一体性を鉄道と道路が邪魔していますが、鉄道の直線化により、接近させることができます。

また、地域の要望を把握するための組織づくりを行い、今後、この地区整備計画が具体化される過程で、地元の意向が十分配慮されるよう指導していきたいと考えています。

骨髄移植が可能に

市立医療センター

白血病や重症再生不良性貧血などの血液難病で苦しんでいる人たちの治療には、骨髄移植を行う医療施設が必要です。この施設の不足が社会問題となっています。

委員から、市立医療センターでの骨髄移植に対する取り組みについて質問があり、当局から「医療センターには、血液の専門スタッフがそろっており、移植手術に必要な無菌室もある。北九州地域に骨髄移植を行う病院が一つしかない状況から、将来的には医療センターでも実施できるよう機能を高めていきたい」との答弁がありました。



市の方針も、状況に応じて機動的な組織運営を行っていくことを基本としています。今までも外郭団体を統合したことがありますが、これからも同種同業の組織は、できるだけ効率化を進めていきたいと考えています。既に具体的に見直し作業を行っているものもあります。今のところ、都市整備公社と区画整理協会の統合について関係者間で話し合っており、六年度中に結論を出したいと考えています。

中間所得層に 良質な賃貸住宅を!

委員 小倉南区企救丘に特定優良賃貸住宅を建てるということですが、事業の内容や今後の計画はどうなっていますか。

当局 この事業は、「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律」によって、市営住宅等に入るには所得が多すぎるといった中間所得層に、良質な賃貸住宅を供給するものです。

とりあえず、小倉南区企救丘に一〇〇戸の特定優良賃貸住宅の建設を計画しています。来年の春に完成する予定で、これをモデルケースとし、入居の様子を見たうえで、各区への展開を考えたいと思います。

黒崎と結ぶ 道路整備は?

北九州学術・研究 都市構想

委員 北九州学術・研究所の誘致をはかるため、黒崎副都心などとの連結道路が必要と思えますが、どのように考えていますか。

当局 都市計画道路として、幹線12号と割子川若屋線の建設計画を進めています。学研都市構想を考えた場合、黒崎副都心と結ぶ道路がもう一本必要です。

外郭団体の統廃合

委員 本市では、仕事シェイプアップ作戦で業務を見直していますが、外郭団体も組織的、財政的に検討する必要があります。外郭団体の統廃合について、どのようにお考えですか。

当局 外郭団体についての